

【学校だより】

三 星 霜

佐世保市立山澄中学校

【学校教育目標】

気づき、考え、正しいことを実行する生徒

【校訓】

健康 自律 責任 礼儀

【文責】

校長 辻 義孝

7月8日(土) 佐世保市体育文化館コミュニティセンターで開催された「佐世保市少年の主張大会」において、本校代表として、3年生の今里結菜さんが出場しました。互い学び合い、力を合わせ未来を切り拓いていこうとするメッセージです。

題名 「わたしが学ぶ理由」 佐世保市立山澄中学校 三年 今里 結菜

六月の終わり、一学期の期末テストがありました。受験を控えているわたしは、去年よりも勉強しました。その理由は、第一希望の高校へ入学したいからです。何時間も勉強していると、時々、何のために勉強しているのか、わからなくなります。学級の間みんな「将来、こんなこと使わないでしょ」とか「勉強は無駄」と思っているはずですが、先生には、申し訳ないですが、国語、社会、数学、理科、英語は将来の役に立つと思っていますが、苦手な技術や音楽、美術は、役に立たないと思っています。

それでは、勉強することは、いつから始まったのでしょうか。調べてみると、日本人は、太古の昔から学び始めていました。最初は、渡来人から学問を学び、徐々に日本独自の教育制度がつけられました。今から1500年ほど前から勉強が始まったことに驚きました。ところで、もう一度、話を戻しますが、わたしたちは、なぜ勉強をするのでしょうか。

勉強というと、机に向かって、教科書を開いてやるものというイメージがあります。しかし、それだけが勉強ではありません。教科書の内容を覚えることだけが勉強ならば、人間にしかできないことになりませんが、人間以外の生き物もみんな、学んで生きています。

例えば、鳥は、親鳥から飛ぶことを学んでいきます。ライオンの子も、自分で獲物を捕ることを学んでいくのです。人間も、親から言葉を学び、徐々に物をつかんだり、立って走ったりする方法を学んでいきます。

そして、人間だけが、さらに、勉強を続けるのです。ある本にこんなことが書かれていました。「勉強をすることで多くの能力が高まる。言語能力、計算能力、思考力、理解力、発想力、表現力など、さまざまな能力を身につけるためには、勉強は欠かせない。これらの力は、日常生活や将来の仕事で必要になるため、子供のころから身につける必要がある。」

この時、小学生の時の教頭先生の言葉が頭をよぎりました。「五年生の今から、必死に頑張れば、人生が変わるよ。今から勉強すれば、将来しあわせになれるよ。」という言葉です。ここではっと気づいたので。

わたしたち人類が、数々の発明や文明、文化、芸術を生み出し、豊かな暮らしができるのは、学び続けたからです。わたしたちが、学ぶことを続け、やめなければ、世の中のしくみを良くしたり、地球上の問題を解決したりできると気づきました。

今、地球上には、たくさん問題が山積みです。戦争や貧困、地球温暖化など難しい問題ばかりです。それを解決するには、学んだこと、すべてを使って考え、行動するしかありません。

「勉強」それは、わたしたちの人生をよりよくするため、そして地球上のすべての生き物が幸せになるためにあると思います。こう考えてみると、勉強することが少し、楽しみになってきました。「三人寄れば文殊の知恵」ということわざがあります。文殊菩薩のようにはなれませんが、たくさん学んで、額を寄せ合いながら、世の中をよくする人になろうと思います。

